

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立(波除小学校)学校協議会

1 総括についての評価

- 学校運営の様々な部分で大きな成果をあげていることが確認できた。
- 特に、地域の人材を活用したゲストティーチャーの復活に積極的に取り組んでいることがよく伝わっていくる。
- 課題となっている部分について経年での課題も見受けられるため、次年度には改善を図りたい。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標」

- ① 小学校学力経年調査における「学校へ行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。(R6:88.7%) (R7後:81.3%)
- ② 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。(R6:46.1%)
- ③ 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。(R6:88.7%) (R7後:90%)
- ④ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。(R6:85.2%) (R7後:88.8%)

○指標となるアンケートが学校独自のアンケートに比べて経年調査のアンケートになると数値が下がるとの報告を受けた。アンケートの特徴をふまえて、より丁寧に達成していない部分の分析と対応をお願いします。

年度目標：【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標」

- ① 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を50%以上にする。(R6:47%) (R7後:45%)
 - ② 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(R6:68.7%) (R7後:62.5%)
- 「学校独自の目標」
- ③ 小学校学力経年調査における「社会の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を69%以上にする。(R6:68.7%) (R7後:71.3%)

○社会科の学習で成果を上げている一方で、外国語の学習に関して昨年度の引き続き課題がみられる。学校全体で取り組みが進められるように次年度改善を図りたい。

【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】

「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」

① 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く）（R6:32.8%）（R7 後:83.1%）

② 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1（1ヵ月の勤務時間超過45時間以下、年間360時間以下）を満たす教職員の割合を65%以上にする。（R6:65.8%）（R7 後:80.56%）

「学校独自の目標」

③ 「はぐくみネット」や学校協議会の仕組みを生かして、学校の美化や登下校の見守り、学習支援、学校行事の運営など、保護者や地域の人との協働による活動を推進する。

○ICT教育の推進、働き方改革および地域と協働した学習づくりが進んでいることがよくわかる。さらに波除小学校の強みの部分を伸ばせるように次年度努力されたい。

3 今後の学校園の運営についての意見

○引き続き、地域との連携、ゲストティーチャーの招聘に積極的に取り組まされたい。

○子どもたちの自己肯定感の向上に向けて、きめ細やかな取り組みを進められたい。

○平和教育を進めていくこと、修学旅行について行先の変更を予定していることなど積極的に保護者にも発信されたい。

○ICTでの学習が進められていて、成果も出ているが、一方でスマホの問題等も聞こえてきている。ICT機器を使いこなすところと、基本的な読み書き算の学力と両方をしっかりと育成していただきたい。

○海外からの転入が増えてきている中で、その子どもたちが困らないように、保護者が困らないように、学校としてできることを進められたい。